

木質バイオマスストーブの開発
(事後評価)

質問・意見

回答

G委員	価格はどのくらいになるのですか？	海外製では本体価格40万円、さらに設置費も同程度かかります。それと比較しますと、本体は40万円ですが、設置については壁に穴をあけるだけです。設置費用も合わせて50万円程度になります。家庭用については20万程度を考えています。
B委員	樹皮ペレットを用いることによる、使用者側のメリットはなにかあるのですか？	樹皮ペレットは木部ペレットに比べて燃料費が安くなります。
	では、石油、電気等の従来のエネルギーとコスト比較してはどうなのですか？	燃料費は、工場から直接購入する場合は石油と同等ですが、実際に販売する際は工場からの輸送費も考慮すると、やや割高になります。現状では環境側面において優れているというのがメリットと言えそうです。
D委員	岩手県として、今後どのようにペレットやストーブ本体の販売方法について検討していくのですか、また、センターとしても支援していくべきではないでしょうか。	岩手県としてペレット流通に関して話し合いが進んでおり、今冬までに流通システム構築をすすめているところです。
C委員	灰は実際はでないのですか？	灰はでます。一日中つけると手のひらに乗るくらいです。
	灰の排出機構をもうけないと、家庭で処理する場合に問題があるではありませんか？	研究時に検討はしたのですが、今回はコストの関係上省かざるをえませんでした。 今回はターゲットとして学校を考えています。学校であれば花壇もあるので肥料として灰をまくこともできますし、環境教育の面からもメリットがあると考えられます。問題についてはいずれ対応する必要はあると思います。
E委員	耐久性の問題はどうでしょうか？	長期的な試験はまだできないのですが、熱設計等で考慮はしており、10年程は保つように設計しております。
G委員	モニターアンケートで県内では南部鉄器を使って欲しいという要望が高かったということですが、県外ではどうなのですか？	(所長) 他県でもアンケートはとっております。その結果、特に女性で価格を下げたいという要望が多数ありましたので、最終的には南部鉄器はオプションにして、希望に応じてつけるよう検討しているようです。